

## フローとストック ～来たる年が良い年でありますように～

今更、申し上げるまでもなく、フローとは「金やモノの流れ」であり、ストックとは「蓄積」です。

企業の経営においてはフローを大きくすることが大事で、ストックは必要以上に持つてはならない、在庫は悪であると、教えられます。最近の企業は内部留保が増えていると聞きますが、モノのストックは悪くて、お金のストックは良かったでしょうか。

金融業じゃなくても、やはり、カネが滞留してはよろしくないでしょう。

所詮、紙幣は紙であり、ゴールドも宝石も石ころであり、それ自体が何かの役に立つものではありません。だから、人為（思惑）で価値がころころ変わるのだとも言えます。ものづくり企業が、その様なモノを必要以上に集めてどうするのですか。



出所：三菱マテリアル HP

世界中の国々ではデフレ傾向になりつつあるようです。今、世界中が金融緩和でカネが供給過剰になり、新興国では設備投資過剰となっており、結果としてカネの供給量増加ほどには物価が上昇していません。新興国は余剰設備でものを造りつづけています。消費が期待される中間層（実質的に貧困化）にはカネが無くて、買いたいものも買えない状況かと思われます。だぶついたカネは、99:1 ともいわれる 1%の富裕層の金庫に国債、株式等の形で滞留しているということになっているようです。

消費の主役は中間層ですが、格差拡大で中間層が薄くなり、貧困層が増えつつある現状では消費もフローも増えません。

富裕層に申し上げます。そんなにカネを集めてどうするのですか。そんなにカネを持っていても使える額はたかが知れています。フェイスブックのザッカーバーグ氏のように寄

付でもされた方がよろしいのではないですか（尤も、節税対策だとの話もありますが）。資本家が強くなりすぎ、労働者が弱くなりすぎていて、変革は難しいとは思いますが、格差の無い社会にして、売れる商品を作り、消費（フロー）を増やさなければ資本主義も民主主義も維持できなくなります。世界中が豊かになり、貧富の差が縮小し、貧困が亡くなればテロも戦争もなくなります。少子化問題も解決します。

問題だらけ、矛盾だらけのこの世界、資本主義が限界を迎えていると言っても過言ではないでしょう。この窮状を解決するには新しい経済理論が必要ですが、最近、「日本人って、すごいなー」と見直しが進んでいる日本人が考え、創り出すしかないのではありませんか。

話はかわりますが、フローとストックの関係は、研究開発でも言えます。いくら素晴らしい技術を開発しても、次の工程に流れなければ、宝の持ち腐れとなります。研究者もその技術に拘り、次のテーマに移れないでしょう。開発した技術の手離れを良くし、別な技術の開発を行っていただければよいのです。ストックにして良いのは、時代を先取りしすぎた技術と失敗した技術です。

オープンイノベーションがますます盛んになることを祈っています。